

開講学科	基礎教育センター（総合デザイン工学科）	前橋工科大学 シラバス			
科目名	歴史学	標準対象年次	選択／必修	科目コード	
		3年次	選択	18000501	
担当教員	小林龍彦	単位数	学期	曜日	時限
		2年次	前期	木曜日	7時限
授業の教育目的・目標	広汎な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の涵養を図るとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。				
学科の学習・教育目標との関連	歴史は人間の創造活動の所産であり、過去の事実が現在を生じている。その過去を読み解く方法である史料の見方や分析法の学習から歴史の真実の姿を見る眼が養える。こうした学習を通じて、大学生として必要な教養と倫理観を身に付ける。				
キーワード	歴史、歴史学、史料批判、史料探訪				
授業の概要	本講義では、歴史と歴史学研究の基本用語の誕生および歴史叙述の始まりからはじめて、歴史を学び理解するための基礎的手続きである史料の書誌学的見方、またそれらの調査法について学ぶことにする。さらには、具体的事例として日本科学史研究に関する最新の研究動向も紹介することにする。				
授業の計画	第1回： 歴史学を学ぶにあたって 第2回： 歴史とはなにか 第3回： 歴史と歴史学の意味 第4回： 用語歴史の誕生 第5回： 歴史叙述のはじまり（ヘロドトスの『歴史』） 第6回： 歴史叙述のはじまり（司馬遷の『史記』） 第7回： 歴史を見る眼とは 第8回： 歴史事実の取舍選択問題 第9回： 学問としての歴史学とは 第10回： 史料探訪・発見・利用問題 第11回： 史料を見ること・読むこと 第12回： 史料批判 第13回： 日本科学史研究の事例から（禁書令緩和策と『暦算全書』の舶載） 第14回： 日本科学史研究の事例から（『徳川実紀』批判） 第15回： 講義を振り返って				
受講条件・関連科目	歴史学に関心のある者。				
授業方法	講義を中心に展開し、必要に応じて資料配付する。				
テキスト・参考書	参考図書：福井憲彦『歴史学入門』（岩波書店、2006年） 史学会編『歴史学の最前線』（東京大学出版会、2004年） 岡田英弘『歴史とはなにか』（文芸春秋、平成17年）				
成績評価	試験(90%)、レポート(10%)などによって評価する。				
履修上の注意	特になし。				